



募集案内

主催:(公社)沖縄県青少年育成県民会議

共催:沖縄県教育委員会

令和6年度沖縄県青少年フレンドシップイン兵庫団員募集要項

事業の概要

昭和47年から沖縄と兵庫は友愛県として深い交流の歴史があり、その一環として両県の児童生徒が歴史文化のふれあい交流で友情の絆を深め、防災学習や体験活動を学ぶことで、ふるさとの発展に寄与できるリーダーを養成する。

ア 日程 令和6年12月21日(土)~12月24日(火) (3泊4日)

イ 目的地 兵庫県

ウ 参加人員及び団体構成

(ア)参加人員 89人

(内訳) ・一般団員 県内に在住する小学5・6年生 60人

・班長・副班長 県内に在住する中学生 20人

・役職員 団長1人、副団長兼事務局長1人、事務局職員5人、看護師2人

(イ)団構成 10班編成 [1班 8人=小学生6人、中学生(班長・副班長)2人で編成する]

エ 活動内容

(1)班長・副班長研修(対象:中学生 宮古・八重山など離島班長・副班長はオンラインにて参加可)

日時	活動内容	場所	その他
11月9日(土) 13時から16時	事業概要、班長・副班長としての心得 レクリエーション等	沖縄県三重城合同庁舎	研修会会場 までは保護者で 送迎する

(2)事前研修<宿泊研修>(対象:全団員 離島団員はオンライン(ZOOM)にて参加可)

日時	活動内容	場所	その他
11/16(土)10時から 11/17(日)13時まで	事業概要説明、団員の心得、 レクリエーション、体験学習準備、 郷土の歴史・文化についての学習	県立石川青少年の家	研修会会場 までは保護者で 送迎する

(3)本研修

月日	交通機関	活動内容	宿泊
1日目 12月21日(土)	航空機 バス	(8:30~9:00 空港集合予定) ・結団式~那覇空港~神戸空港 ・人と防災未来センター見学	神戸市立自然の家 (3泊) 
2日目 12月22日(日)	バス	・兵庫県児童生徒との交流会 ・郷土芸能の紹介・体験活動・レクリエーション ・雪遊び	
3日目 12月23日(月)	徒歩	・兵庫県の文化・歴史学習 ・姫路城見学 ・昼食(南京町探索、昼食各自負担予定) ・明石海峡大橋見学・お別れの集い ・研修のまとめ(作文・アンケート)	
4日目 12月24日(火)	バス 航空機	・兵庫県県庁表敬(お礼・解団式) ・神戸空港~那覇空港 (16:00~17:00 頃空港到着予定)	

(4)事後研修 (離島団員は参加免除)

月日	活動内容	場所	その他
1月25日(土) 13:00~17:00	・本研修のまとめ学習(班ごとにレポートを作成し事業の目的と 自身の成長を確認する)	県立石川青少年の家	研修会会場までは 保護者で送迎する

※活動内容は都合により変更する場合があります。

『兵庫県について学んだこと』 中学生 男子

私がフレンドシップイン兵庫に参加して一番印象に残ったことは二つあります。

一つ目は人と防災未来センターでの展示物の見学です。今までは教科書や講話などでしか阪神・淡路大震災の事について学んだことがなかったけど、展示物の見学では、映像と音響で震災のおそろしさをリアルに感じただけでなく、被災者の声やモノを見たり聞いたりして当時の状況を知ることができました。このことから沖縄へ帰ったら家族で防災について話し合おうと思いました。



二つ目は南あわじ市内小中高生との交歓交流会です。沖縄は全員で心を一つにエイサーを、兵庫は人形浄瑠璃を披露しました。さらに兵庫の人形浄瑠璃と沖縄のエイサーなど互いの文化を体験しました。人形浄瑠璃は一体の人形に対し、三人で細かな動きを表現するのが難しかったです。三味線は沖縄の三線と比べて三味線の方が大きく、実際に弾いてみると三線より音が大きく響いていました。兵庫の文化に触れて、沖縄とは違う独特な雰囲気があり、何より南あわじ市内の小中高生が温かく接してくれました。

今回のフレンドシップイン兵庫に参加して、阪神・淡路大震災の悲惨さや被災者たちの頑張りを感ずることができ、南あわじ市内の小中高校生との交流を深めることができたので、この経験を十五の島立ちにも活かしていきます。

『本研修での思い出』 小学生 女子

私は、出発前のとき、家族とはなれて、会ったばかりの人と県外に行くのが不安でした。でも、班員の明るい性格と、話しやすい先生達のおかげで、とても楽しい本研修になりました。

思い出に残ったことは、交流会と姫路城を見学したことです。なぜなら、交流会では、南あわじの人と交歓カードを交換したり、それぞれの文化を紹介して、人形浄瑠璃で使う人形が、想像以上に重くてびっくりしたし、姫路城を見学したときには、首里城とはまったくちがうし、景色がとってもきれいですごいなと思いました。

姫路城の中は、階段がきゅうでこわくなったりしたけど、一番上まで登ったら、たっせい感がとてもうれしかったです。

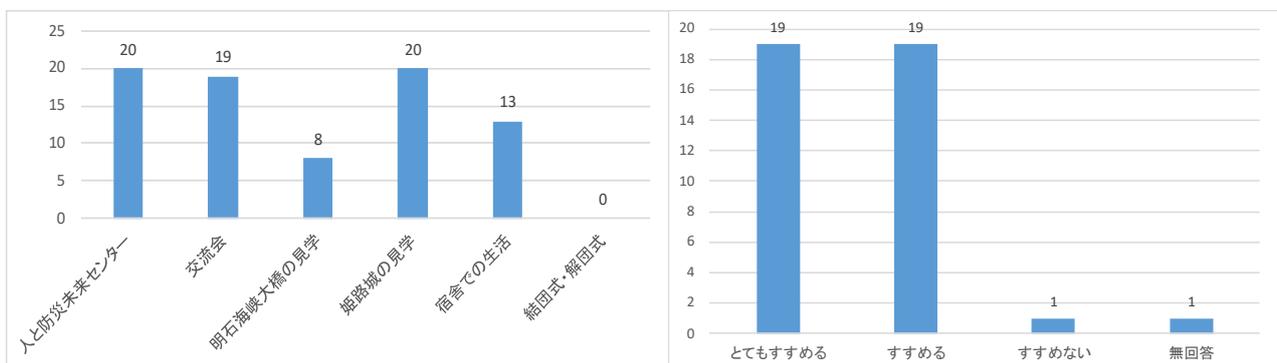
出発前のときの不安が、団員のおかげでわくわくや楽しいに変わったし、思い出に残る研修ができたのでよかったです。

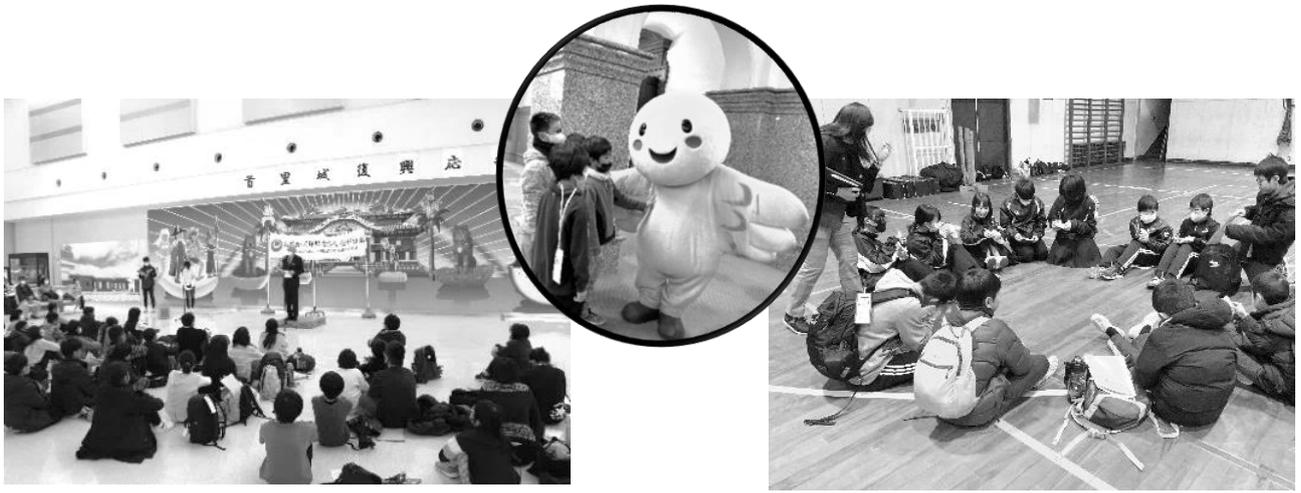
これからの生活では、友達をはげまして、場を明るくできるような人をめざしたいなと思いました。



令和5年度 参加者アンケートより。

- ① 参観・研修の中で心に強く残ったものは ②この事業を友人にすすめますか。
なんですか。(複数回答可)





兵庫に伝え
兵庫から学ぶ



1 応募資格 一般団員の応募資格は次のとおりとする。

- (1) 沖縄県内に在住する小学5年生・6年生及び中学生
- (2) 心身ともに健康で、規律ある団体生活及び団体行動ができる者
- (3) これまでに沖縄県青少年育成県民会議が主催する類似の事業に参加したことがない者
- (4) 研修中に SNS にて子ども達の様子を UP します。**掲載 NG の方はご参加をご遠慮ください**
- (5) 原則として、事前研修・本研修・事後研修の**すべてに参加が可能な者**(体調不良・離島在住者を除く)



👉 応募はこちらから
SNS 等掲載 NG の方はご参加をご遠慮ください

- ※ 保護者様がお子様の同意なく応募することが増えております。必ずお子様の同意を得てからご応募ください。
- ※ 食事につきましては、できる限りアレルギー除去で対応はさせていただきますが、内容等によりましては安全を第一に考え、ご自身での食事持ち込みになりますのでご了承ください。
- ※ 自己都合でのご辞退は次回以降フレンドに応募された際、選考を考慮いたします。(体調不良の場合を除く)

2 応募方法及び募集期間等

- (1) 応募方法は、右の QR コードにて応募する。
- (2) 応募は1人1回限りとする。
- (3) 応募期間は、**令和6年9月2日(月)～令和6年10月1日(火)17時**とする。

3 選考 団員は次のとおり選考する。

- (1) 抽選による選考72人
抽選による選考は、主催者において応募状況を勘案し、第3者の立ち会いのもとに抽選を行う。

4 内定及び決定(抽選後、**内定者のみ 10/31 までに内定通知を送付します**)

- (1) 抽選又は、推薦により選考を経た者を団員内定者とし、本人及び推薦者に通知する。
- (2) 団員内定者は、事前研修を良好な成績で終了したときに、正式に団員として決定する。
- (3) 団員として決定し、参加費を納めた者が参加を辞退しようとするときには、ただちに電話等により申し出ること。この場合にすでに納めた参加費の内、辞退するまでに支払った経費を差し引いた金額を返還する。その際、振込手数料は、辞退者負担とする。ただし、**令和6年11月21日(木)**以降に辞退を申し出たものには返還しないことがある。

5 経費

- (1) 一般団員・班長・副班長(小中学生)は、**60,000円**の参加費用を負担する。(事前研修の青少年の家の宿泊・食事代・保険料及び本研修の宿泊・食事・交通費などの諸経費を含む)
※離島団員の離島⇄那覇空港間の航空券代は、上記参加費用には含まれておりません
- (2) 事前研修、本研修、事後研修への参加は、現地集合・解散なので、保護者の責任で送迎する。
- (3) 事前研修、本研修及び事後研修実施期間中に、台風、地震等の自然災害により生じた宿泊費、交通費等の超過経費については自己負担とする。
- (4) 事前研修、本研修及び事後研修の実施期間中に、団員の責任により生じた経費及び怪我、疫病等に要する経費は自己負担とする。

6 事業の中止

天候その他やむを得ない事情で、事業を中止した場合は、団員が払った負担金の中から、団員のためにすでに支払った経費を除いて返還する。

7 旅行傷害保険等

事前研修、本研修及び事後研修会に参加する際に、(公財)スポーツ安全協会のスポーツ安全保険(A1)に加入する。

8 問い合わせ 事業の詳細については、下記までお問い合わせ下さい。

(公社)沖縄県青少年育成県民会議 電話:098-861-3463